

## 第6学年 外国語学習指導案

日時 令和元年 10月11日(金) 公開授業①

児童 6年2組 男子20名 女子12名 計32名

場所 白鳥ホール

指導者 佐藤 大樹

1 単元名 My Summer Vacation 夏休みの思い出 (We Can!② Unit5)

2 主な言語材料

(1) 基本文

I went to (my grandparents' house). I enjoyed (fishing). I saw (the blue sea),  
I ate (ice cream). It was [fun / exciting / beautiful / delicious].

(2) 語句

grandparent, vacation, shaved ice, 動詞の過去形 (went, ate, saw, enjoyed, was)

自然 (beach, mountain, lake, river), 動作 (hiking, camping)

[既出] my, it, sea, スポーツ, 果物・野菜, 飲食物, 季節, 動作, 身の回りの物, 状態, 気持ち

3 単元について

(1) 教材について

本単元では、夏休みの思い出を題材としている。過去形の表現が分かり、夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだことを伝え合ったりすること、書かれたものを読もうとしたり、話したことを書こうとしたりすることを目標としている。

夏休みは児童にとって家族や親戚、友達との思い出があり関心が高い。特に、今夏は夏休みの課題として絵日記を書かせたので、記憶に鮮明に残っていると思われる。

夏休みの思い出について伝え合う活動に取り組むことで、過去形の表現にも無理なく親しむことができるようになる。過去形の表現は、この単元で初出であるため、デジタル教材で「聞くこと」や「話すこと」に取り組む、語句や表現に慣れさせていく。また、単元の後半では、音声言語で十分慣れ親しんだ語句を読んだり書いたりする活動へもつなげていくことができる。

児童が過去形の表現を知り、言語活動を通して語句や表現に慣れ親しみ、語順を意識して書き写す経験を通して、他者に配慮しながら夏休みの思い出を伝え合おうとする上で適した教材と考える。

(2) 児童について

本学級の児童は、これまで自己紹介や日本や地域の良さの紹介、他者紹介等を通じて相手意識をもって伝える活動に親しんできた。児童は、コミュニケーション活動をする際に、ジェスチャーや相手に聞きやすい声で話すなど相手意識をもって交流している。また、友達や地域の良さなど新たな気付きやよさを見つけ、外国語の学習に意欲的に取り組んでいる。

しかし、思春期に入り、男女でのコミュニケーションに抵抗感を持っていたり、自分から話しかけられなかったりする姿が見られる。そこで、意図的にコミュニケーション活動を取り入れ、相手意識をもって交流する楽しさや大切さを味わわせていく。

書くことに係る活動では、大文字や小文字を用いて単語を書いたり、単語と単語の間にスペースを置き、語順を意識して書いたりする活動を行ってきた。また、新教材の例やワードリストを見て書き写すなどの活動にも取り組んでいる。しかし、4線を意識して書けなかったり、形を曖昧に記入したりしている。書く活動の際には、ワードリストなどを参考にし、「形」「位置」「スペース」を意識させて取り組んでいく。

読むことに係る活動では、デジタル教材の音声を聞き、ローマ字との音の違いや共通点を確認し読む活動を行っている。

(3) 指導にあたって

本単元の最終活動は、夏休みの思い出について、感想を交えて伝え合うことである。その活動に向けて以下の学習を展開していく。

「出会う」段階では、最終目標を提示し、単元全体の見通しをもたせていく。また、デジタル教材で夏休みの思い出を聞き取らせ、過去形の表現に気付かせる。went を使って、ペアで夏休みに行った場所について聞いたり、言ったりする活動を行っていく。

「慣れる」段階では、過去形の表現の仕方に慣れ親しませるためにデジタル教材やゲーム、チャンツなどを繰り返し聞いたり、言ったりするなどして、音声に十分に慣れさせていく。表現に慣れてきたら、インタビューを通して、夏休みに行った場所や食べた物、その感想などを伝え合う活動を行う。また、夏休みの思い出について、表現例を参考に語順を意識しながら書き写させていく。

「伝える」段階では、夏休みの思い出について学年で交流会を行う。交流する際は、相手意識をもち、聞き手に伝わりやすい話し方を心がけ、既習表現を用いて、会話を広げるようにする。

また、友達の夏休みの思い出を聞き、新たな一面を感じたり、もっと知りたいという気持ちを高めたりしていく。

#### 4 単元の目標及び評価規準

##### (1) 単元の目標

- ・夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などを聞いたり言ったりすることができる。  
(知識及び技能)
- ・夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などについて伝え合う。
- ・夏休みの思い出について簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読んだり、例を参考に語順を意識しながら書いたりする。  
(思考力、判断力、表現力等)
- ・他者に配慮しながら、夏休みの思い出を第三者について伝え合おうとしている。  
(学びに向かう力、人間性等)

##### (2) 単元の評価規準と評価方法

観点	内容	方法
知識及び技能	・夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などを聞いたり言ったりすることができる。	行動観察 自己評価 相互評価 振り返りシート
思考力・判断力・表現力等	・夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などについて伝え合っている。 ・夏休みの思い出について簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読んだり、例を参考に語順を意識しながら書いたりしている。	
主体的に学習に取り組む態度	・他者に配慮しながら、夏休みの思い出について伝え合おうとしている。	

#### 5 単元指導計画

(別紙)

#### 6 本時の指導 (3/8時間)

##### (1) 目標

夏休みに行った場所とその感想を伝え合う。【知識及び技能】

##### (2) 研究との関わり

本単元の最終ゴールは、夏休みの思い出について感想を交えて交流することである。この単元では、過去形の表現が出てくるため、デジタル教材やゲームを通じて十分に慣れ親しませていく。1回目の活動後、シェアリングタイムを設け、難しかった英語表現について確かめ、次の活動に生かしていく。

##### (3) 展開

時程	学習活動	指導者の活動	○指導上の留意点 ◎評価 ◇配慮を要する児童への手立て
導入 8分	<b>【Warm-up】</b>		
	1 Greetings	・明るく挨拶をする。	○友達と明るい挨拶を行い、明るい雰囲気をつくる。
	2 Review ・チェンゲーム	・前時で学習した、 ① went ② How about you?を用いてグループでチェンゲームを行う。	○前時で学習した表現の確認をする。
	3 Small Talk  T : I went to Yagiyama Benyland. It was exciting.		○本時で学習する感想の表現に気付かせ、発表させる。
4 Today's goal  夏休みに行った場所とその感想を伝え合おう。		○夏休みに行った場所と感想を付け加えて交流することを確認する。	

展開	<b>【Main Activity】</b> <b>5 Let's Listen</b> ・デジタル教材を聞き、聞き取れた内容をもとに線を引く。 ・聞き取れたことを発表する。	・新教材のイラストからどんな内容かを推測させる。 ・デジタル教材の内容を全体で確認をする。	○デジタル教材で聞き取れない児童には全体の場で確認することで理解させていく。
	①Hi, I'm Kosei. I went to the mountains. I enjoyed camping. It was fun. ②Hi, I'm Hana. I went to the zoo. I saw a panda. It was cute. ③Hi, my name is Aoi. I went to the sea. I enjoyed fishing. I ate obento. It was delicious.		
	<b>6 Let's play</b> ・フェイントゲーム fun,exciting,cool,good beautiful,nice,great  <b>7 Activity</b> ・絵日記(行った場所)と絵カード(形容詞)を置く。  ・夏休みに行った場所や感想を伝え合う。(ペア)	・指した絵カードを児童と一緒に発音する。 ・慣れてきたら児童に先生役をさせる。  ・教師が間違ったモデルを提示する。  ・会話表現の確認をする。	○リズムに合わせて、形容詞を声に出し、慣れ親しませていく。  ○絵日記(行った場所)に合う絵カード形容詞があることを確認する。  ○行動観察を行い、表現できない児童に対して、発音をリードしていく。
S1S2 : Hello. S1 : I went to the sea. It was beautiful. How about you? S2 : I went to the mountain. It was nice. S1S2 : Thank you. See you.	・シェアリングタイム  ・会話表現で十分慣れ親しんでいないものがあつたら、慣れ親しむ活動を取り入れる。 ・友達に関わる新たな気付きについて感想を交流する。	◇表現を忘れた児童には、友達や教師から教えてもらうよう助言する。 ◎過去形の表現の仕方が分かり、夏休みに行った場所とその感想を伝え合う。(行動観察・相互評価・自己評価)  ○エコーイングを取り入れて2回目のやり取りを行う。 ○シェアリングタイムで出てきた友達を紹介する。	
終末  7分	<b>【Reflection】</b> <b>8 Reflection</b> ・振り返りシートに記入する。  <b>9 Greetings</b>	・It was はなぞり書きをし、形容詞は絵カードを見ながら書き写させる。 ・「わかったこと」「友達のよさ」「次に頑張りたいこと」など振り返りの観点に沿って記述させる。 ・終わりの挨拶をする。	○「形」「位置」に気を付けて書くように助言をする。  ○観点に沿って振り返らせ、達成感を味わわせる。 ○次時に向けての課題をもたせる。

7 板書計画

Today's Goal				
	夏休みに行った場所とその感想を伝え合おう。			
Greetings				
Small Talk				
Today's Goal	絵カード fun	絵カード beautiful	絵カード exciting	絵カード cool
Let's Listen				
Let's play				
Activity	絵カード delicious	絵カード good	絵カード wonderful	
Reflection				